

後期基本計画（案）

（第1～3章）

前期基本計画（令和2年度から令和5年度までの4か年計画）から修正・追加等のあった点については、赤字で表記しています。

なお、7月26日に開催しました第2回桐生市総合計画審議会における各委員からのご意見等を受けて修正・追加等した点については、赤字で表記しています。

また、目標指標等で削除した部分については、取り消し線を引いています。

■施策の体系

感性育み

未来織りなす

粋なまち桐生

施策の方向性	分野別施策
1. 産業経済の振興 (産業、観光)	1. 地域産業の活性化 (地域産業)
	2. 企業立地の推進 (工業)
	3. 商業の活性化とにぎわいづくり (商業)
	4. 雇用・労働環境の充実 (雇用・労働環境)
	5. 農林業の活性化 (農林業)
	6. 観光の振興 (観光)
2. 福祉・健康の増進 (福祉、健康、医療)	1. 子ども・子育て支援の充実 (子ども・子育て支援)
	2. 介護・高齢者福祉の向上 (介護・高齢者福祉)
	3. 障がい者福祉の向上 (障がい者福祉)
	4. 地域福祉の向上 (地域福祉)
	5. 健康づくりの推進 (健康づくり)
	6. 地域医療の充実 (地域医療)
	7. 生活支援・社会保障の充実 (生活支援・社会保障)
3. 教育・文化の向上 (教育、生涯学習、芸術・文化、スポーツ)	1. 学校教育の充実 (学校教育)
	2. 教育研究の推進 (教育研究・適応指導)
	3. 青少年健全育成の推進 (青少年育成)
	4. 生涯学習の推進 (生涯学習)
	5. 芸術・文化の振興 (芸術・文化)
	6. スポーツの振興 (スポーツ)
4. 生活環境の向上 (環境、安全・安心)	1. 環境保全対策の推進 (生活環境)
	2. 循環型社会の推進 (循環型社会)
	3. 消防・救急体制の強化 (消防・救急)
	4. 防災・減災対策の推進 (防災・減災)
	5. 防犯・交通安全対策の推進 (防犯・交通安全)
	6. 消費者保護対策の充実 (消費者保護)
5. 都市基盤の整備 (都市基盤)	1. 土地利用と景観の形成 (土地利用・景観)
	2. 歴史まちづくりの推進 (歴史まちづくり)
	3. 道路交通網の整備 (道路・橋りょう)
	4. 公共交通体系の充実 (公共交通)
	5. 住宅対策の推進 きりゅう暮らしの推進 (移住・定住・住環境)
	6. 公園・緑地の整備 (公園・緑地)
	7. 水道水の安定供給 (上水道)
	8. 汚水・雨水の適正処理 (下水道)
	9. 水と緑の保全 (自然環境・河川)
6. 計画推進のために (協働、行政運営)	1. 市民協働 公民連携 の推進 (公民連携)
	2. シティブランディングの推進 (シティブランディング)

		3. 広報・広聴の充実	(広報・広聴)
		4. 男女共同参画の推進	(男女共同参画)
		5. 地域連携の推進	(地域連携)
		6. 国際交流・多文化共生の推進	(国際交流・多文化共生)
		7. デジタル化の推進	(DX 推進)
		8. 効率的で健全な行財政運営	(行財政運営)

■重点施策

今後追加予定

1-1 地域産業の活性化



担当課	商工振興課
主な関係課	新里支所地域振興整備課、黒保根支所地域振興整備課



基本方針

中小企業等の経営基盤の強化に向け、「ものづくりのまち桐生」が誇る優れた製品や技術を有する企業に対して必要な支援を行います。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「地域産業の活性化」の市民実感度※1	%	※調査中 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上
従業員1人当たり製造品出荷額 【年間】	万円	2,146	2,200	2,200	2,200	2,200

※1 「地域産業の活性化」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市のものづくり産業は元気で活力がある」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。



現況と課題

- ◆ **新型コロナウイルス感染症の感染拡大による地域経済への影響に加え、不安定な世界情勢に伴う原油価格・物価高騰等により、厳しい経営環境が続く中、**中小企業が抱えるさまざまな経営課題に対し、適切な助言とサポートを行い、競争力の向上や経営の安定化を図ることが求められています。
- ◆ 中小企業は優れた技術やノウハウを有しながら、特定の企業の受注に依存した体制や、経営者の高齢化などの課題を抱えていることから、経営基盤強化と競争力向上のため、新製品・新技術の開発や多様な販路の開拓、**DX化を通じた生産性向上や新たな付加価値の創出等**を支援するとともに、創業と事業承継を促進し、産業集積の維持・発展を図る必要があります。



施策の方向

1. 中小企業の経営基盤強化

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
製造業の事業所数 (従業者 4 人以上) 【各年度末時点】	事業所	332	332	332	332	332	332
販路開拓支援による展示会等における商談成約件数【年間】	件	135	140	150	160	170	
創業支援等事業計画※2に基づく創業者数【年間】	人	38	40	40	40	40	

※2 創業支援等事業計画…産業競争力強化法に基づき、地域における創業の促進を目的として、市が創業支援等事業者と連携して策定する計画。

施 策
1. 市内企業の成長支援
2. 創業・事業承継の促進
3. 公的融資の利便性の向上
4. 中小企業の経営合理化の促進

2. 伝統産業の保護・育成

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
桐生テキスタイルプロモーションショー※3の入場者数	人	828	850	900	950	1,000	
織物記念館織物資料展示室の来館者数【年間】	人	9,419	9,500	9,600	9,700	9,800	

※3 桐生テキスタイルプロモーションショー…繊維産地桐生の活性化を目的に、市内の繊維関連企業が参加し、顧客の拡大と安定化を図るため東京で開催する展示発表会。

施 策
1. 桐生ブランドの発信
2. 商品開発・販路開拓の支援



主な関連計画

◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2024年度）

1-2 企業立地の推進

担当課	商工振興課
主な関係課	都市計画課、新里支所地域振興整備課

基本方針

雇用の確保と経済環境の変化に対応できる産業構造・産業基盤の強化を図るため、多様な企業誘致と市内企業の流出防止を推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「企業立地の推進」の市民実感度 ※1	%	調査中 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上
桐生武井西工業団地の雇用者数 【延べ】	人					
分譲可能な新規工業団地数	団地	0	0	0	0	1

※1 「企業立地の推進」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は企業誘致に取り組み、工場の建設などが進んでいる」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

現況と課題

- ◆本市には、工場用地が少なく、また、既存の工場の周辺に住宅地が開発されるなどしたことから、**住工混在が顕著で**操業の制約となっており、**事業拡大にあたり、拡張用地等の確保が困難なため、市外へ流出する企業も見受けられます。**
- ◆コロナ禍において、**海外に移転した生産拠点、原材料・資材等の調達先の国内回帰や、近年多発する自然災害に備えるため、都市部から地方都市への生産拠点分散の動きが活発化しています。**
- ◆全国的に企業誘致の競争が激化している中、新規工業団地の整備に当たっては、企業ニーズに適合した質の高い用地を選定することが**重要かつ急務**であり、**地域資源の活用を積極的にPRしながら、**地域への波及効果が期待できる優良企業の誘致や、**企業の市外流出を防ぐ**必要があります。



施策の方向

1. 企業立地の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
桐生武井西工業団地の立地企業数 -【延べ】-	社						
製造業新規立地数【年間】	社	5	5	5	5	6	

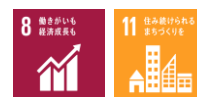
施 策
1. 計画的な工業団地の整備
2. 企業誘致活動の推進



主な関連計画

◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2024年度）

1-3 商業の活性化とにぎわいづくり



担当課	商工振興課
主な関係課	都市計画課



基本方針

市民ニーズの高い中心市街地等のにぎわいを創出するため、古くから市街地の経済活動を担うまちの顔である商店街をはじめとした商業の活性化を図ります。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「商業の活性化とにぎわいづくり」の市民実感度※1	%	※調査中 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上

※1 「商業の活性化とにぎわいづくり」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市の中心市街地、商店街はにぎわっている」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。



現況と課題

- ◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大をはじめ原材料費や光熱費の高騰など厳しい状況の中で、商業の活性化に向けては、経営者（後継者）の育成に加え、本市に多く存在する近代化遺産を生かした産業観光や伝統産業・地場産業との連携、地域資源の活用など、総合的・一体的に取り組むことが課題となっています。
- ◆コロナ禍においても起業や新店舗開設に関する相談は減少せず、市や県の支援策を活用した起業や新店舗開設の事例は増えていることから、こうした傾向を一過性でなく継続させることが課題となっています。そのため、「桐生市移住支援フロント むすびすむ桐生」の機能強化等を図りながら、公民連携の観点で中心市街地等のにぎわい創出に向けた取り組みを推進し、事業者同士の連携につなげていく必要があります。



施策の方向

1. 商業環境の整備

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
空き店舗対策制度を活用して開業した店舗数【延べ】	件						
空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業補助金を活用して開業した店舗数【年間】	件	11	12	12	12	12	12
空き店舗活用支援資金を活用して開業した店舗数【年間】	件	1	2	2	2	2	2

施 策

1. 魅力ある商店づくり
2. 生鮮食料品の流通拠点の確保

2. 市街地のにぎわいづくり

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
中心市街地の空き店舗率【各年度末時点】	%	17.3	17.1	16.9	16.7	16.5	

施 策

1. 中心市街地活性化の推進
2. 活力ある商店街の再構築



主な関連計画

◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2024 年度）

1-4 雇用・労働環境の充実



担当課	商工振興課
主な関係課	地域づくり課、健康長寿課、福祉課

基本方針

若者、女性、高齢者、障がい者など働く意欲のある全ての人々が能力を発揮し、多様な働き方が選択できるよう、働き方改革を推進するとともに、関係機関や事業所等と連携し、雇用の安定と労働環境の充実を図ります。

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「雇用・労働環境の充実」の市民実感度※1	%	※調査中 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上
有効求人倍率	倍	1.04	1.00以上 を維持	1.00以上 を維持	1.00以上 を維持	1.00以上 を維持

※1 「雇用・労働環境の充実」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は働きやすい環境が整っている」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

現況と課題

- ◆新規学卒者をはじめとする就職希望の若者が、市外に流出する傾向が強い中、市内企業への就職や定着を促進していくために、市内企業の魅力発信に努めるとともに、雇用の安定や労働環境の充実等を推進していく必要があります。
- ◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、ライフスタイルや働き方が大きく変化中、市内企業の雇用・労働環境においてもより柔軟な対応が求められており、対応力強化を推進していく必要があります。
- ◆ウィズコロナの観点で社会経済活動が活発化する中、人材を求める市内企業は多くありますが、企業が求める人材と求職者の希望とのミスマッチも見受けられ、人手不足感が顕在化しています。
- ◆性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、希望に応じた多様な働き方が選択できる雇用・労働環境の充実を推進する必要があります。



施策の方向

1. 雇用の確保と安定化

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
合同企業説明会に参加した学生数	人						
合同企業説明会での面談数	件	31 (2023 年度)	35	40	45	50	
労働セミナーの参加者数【年間】	人	50	55	60	65	70	

施 策

1. 雇用の確保と安定化

2. 労働環境の向上

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
「くるみん※2」または「えるぼし※3」認定を取得した企業数 【各年度末時点】	事業所	9	10	11	12	13	

※2 くるみん…次世代育成支援対策推進法に基づき、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣から受ける認定（くるみん認定）。

※3 えるぼし…女性活躍推進法に基づき、女性の活躍を推進している企業として厚生労働大臣から受ける認定（えるぼし認定）。

施 策

1. 労働環境の向上



主な関連計画

◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2024 年度）

1-5 農林業の活性化



担当課	農林振興課
主な関係課	新里支所地域振興整備課、黒保根支所地域振興整備課、農業委員会事務局

基本方針

農林業の活性化のため、本市の豊かな自然環境を生かした効率的・安定的な農林業の振興を図るとともに、地球温暖化の防止や水源のかん養等多くの公益的機能を有する農村・森林資源の保全活動を推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「農林業の活性化」の市民実感度 ※1	%	※調査中 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上
認定農業者数【延べ】	経営体					
林業従事者数【延べ】	人					

※1 「農林業の活性化」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市の農林業は元気で活力がある」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

現況と課題

- ◆高齢化等により農業者人口が減少する中、大規模な農業を行う担い手の育成・確保が重要となっており、効率的で安定的な農業経営を行えるよう、意欲ある担い手への農地集積を行うとともに、認定農業者の育成や法人化を推進する必要があります。
- ◆林業従事者や新規就業者の確保など雇用安定に向けた支援を行い、国や県、森林組合を中心とする林業関係団体との協同により、意欲ある林業経営に資するための事業を継続する必要があります。
- ◆農地・山林の維持・保全のため、有害鳥獣への対策や耕作放棄地の解消に取り組むとともに、農業用水施設等の維持管理を適切に行っていく必要があります。



施策の方向

1. 農業の活性化

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
農業法人数 【各年度末時点】	法人	44	45	47	48	50	
認定農業者数 【各年度末時点】	経営体	114	115	116	118	120	
担い手への農地集積率 【各年度末時点】	%	23.1	24.0	24.5	25.0	25.5	

施 策
1. 農業の担い手の育成・確保
2. 魅力的な農産物の生産振興と販売力の強化
3. 農産物の安全確保と地産地消の推進
4. 環境と調和した農業の推進
5. 農業施設整備・鳥獣被害防止対策の推進
6. 農業者の出荷先の確保

2. 林業の活性化

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
桐生材の市場出荷量	m ²						
森林経営計画上の計画面積 【各年度末時点】	ha	9,180 (2021 年度)	9,200	9,250	9,300	9,350	
林業従事者数 【各年度末時点】	人	49	50	50	50	50	
桐生産木材の出荷量 【年間】	m ³	25,141 (2021 年度)	25,500	26,000	26,500	27,000	

施 策
1. 林業後継者の育成
2. 林業振興と林業生産基盤の整備
3. 林業関係団体との協同の推進
4. 森林保全・有害鳥獣対策の推進



主な関連計画

- ◇農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想（2021～2025年度）
- ◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2024年度）

1-6 観光の振興



担当課	観光交流課
主な関係課	日本遺産活用室、公園緑地課、新里支所地域振興整備課、黒保根支所地域振興整備課



基本方針

交流人口の拡大や関係人口の創出につなげるため、これまで培ってきた観光資源を多様な視点で捉えなおし、他にはない桐生ならではの「個性」を最大限活かすとともに、市内にある日本遺産等を活用した周遊促進や県内外の自治体との広域連携により、観光振興を推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値				
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
「観光の振興」の市民実感度※1	%	※調査中 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上	
観光消費額【年間】	千円	2,606,054	3,089,000	3,573,000	4,056,000	4,540,000	
観光入込客数【年間】	人	3,306,157	3,309,000	3,311,000	3,314,000	3,316,000	

※1 「観光の振興」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は観光地として市外から人が訪れたい魅力のあるまちである」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合



現況と課題

- ◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、働き方や生活そのものが変わり、新たな観光のあり方（ニーズ）へと移行してきています。本市の観光が将来にわたって継続的な発展を続けるためには、観光客を交流人口から関係人口へとつなげていく必要があります。
- ◆「シルクル桐生」の認知度が未だ低いため、アフターコロナの観光需要回復も見据え、まちなか周遊観光の拠点としての機能を高めつつ、認知度向上のため、より一層の周知を図る必要があります。
- ◆まつりなどのイベントを観光資源として充実し、観光客の誘致を推進する必要があります。
- ◆日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」の認知度が未だ低く、十分な活用ができていないため、情報発信の強化及び日本遺産を有する他自治体との連携強化を図る必要があります。



施策の方向

1. 観光客誘致の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
市民主体で行う観光イベントの共催・後援件数【年間】	件	14	16	18	20	22	
観光ガイドの利用者数【年間】	人	496	730	960	1,190	1,420	

施 策
1. 観光客誘致活動の推進
2. まつりなどのイベントの充実

2. 観光拠点施設の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
桐生市観光物産協会ホームページへのアクセス件数【年間】	件	5,699,399	5,985,000	6,284,000	6,598,000	6,928,000	
桐生市観光物産協会フェイスブックへの「いいね」件数	件						
桐生市観光物産協会インスタグラムへの「いいね」件数【年間】	件	3,080	3,935	4,790	5,645	6,500	

施 策
1. 観光拠点機能の充実
2. 観光拠点施設の活用



主な関連計画

◇桐生市観光ビジョン（2022～2026 年度）

◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2024 年度）



2-1 子ども・子育て支援の充実

担当課	子育て支援課、子育て相談課
主な関係課	福祉課、医療保険課、青少年課、教育総務課、学校教育課、生涯学習課、



基本方針

少子化の流れに歯止めをかけるとともに、家庭環境等にかかわらず全ての子どもが健やかに成長できるよう、**妊産婦・子育て世帯・子ども**への**包括的な支援**の充実を図り、総合的な**子ども・子育て支援**を推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「子ども・子育て支援の充実」の市民実感度※1	%	※調査中 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上
合計特殊出生率	-					
1歳児を持つ母親への問診票の設問「育児は楽しいですか」に対し、「はい」と回答した母親の割合	%					

※1 「子ども・子育て支援の充実」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は安心して子どもを産み、育てることができるまちである」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。



現況と課題

- ◆子育てに関する経済的負担の増加や子育てに対する不安などを理由として少子化が進んでおり、この流れに歯止めをかけるための施策の推進が求められています。
- ◆仕事と育児の両立を実現するための子育てしやすい環境づくりや必要な方に適切な子育てサービスが提供されるよう、地域の特性に応じた支援が求められています。
- ◆子どもを産み育てる環境が複雑化し、親と子の関係の変化から虐待やヤングケアラーなどのさまざまな問題が発生しており、児童福祉と母子保健が一体的に、包括的かつ専門的な切れ目ない相談支援体制の整備が求められています。



施策の方向

1. 妊産婦・子育て世帯・子どもへの包括的な支援と相談支援の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
産後1か月頃の母親が回答する「エジンバラ産後うつ病質問票 (EPDS) ※2」の結果が9点以上の母親の割合	%	3.3%	3.3%以下を維持	3.3%以下を維持	3.3%以下を維持	3.3%以下を維持

※2 エジンバラ産後うつ病質問票 (EPDS) …産後うつ病の把握のために用いられ、9点以上はうつ病のリスクが高いとされる。

施 策
1. 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援
1. 妊産婦・子育て世帯・子どもへの包括的な支援と相談支援の充実
2. 健やかな成長の支援
3. 支援を必要とする子どもや家庭に対する支援の充実

2. 子育て支援の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
幼稚園・保育園・認定こども園 特定教育・保育施設における 待機児童数 【各年度4月1日時点】	人	0	0	0	0	0
ママ&パパ教室におけるパパの 参加率【各年度末時点】	%	83.9	90%以上を維持	90%以上を維持	90%以上を維持	90%以上を維持

施 策
1. 子育て支援サービスの充実
2. 仕事と家庭との両立の推進
3. 支援を必要とする子どもや家庭に対する支援の充実

3. 子育て環境の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
赤ちゃんの駅の常設設置数 【延べ】	か所					
特定教育・保育施設の耐震化率 【各年度末時点】	%	48.7	59.5	66.7	69.7	72.7

施 策
1. 子育て支援体制の強化

2. 安全・安心な子育て環境の整備



主な関連計画

- ◇第2期桐生市子ども・子育て支援事業計画（2020～2024年度）
- ◇桐生市健康増進計画「元気織りなす桐生 21（第3次）」（桐生市食育推進計画・桐生市歯科口腔保健推進計画含む）（2024年度～）
- ◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2024年度）



2-2 介護・高齢者福祉の向上

担当課	健康長寿課
主な関係課	福祉課、医療保険課、新里支所市民生活課、黒保根支所市民生活課、生涯学習課



基本方針

高齢者の誰もが住みなれた地域で、自分らしく、いきいきと、安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指し、高齢者福祉の向上を図ります。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「介護・高齢者福祉の向上」の市民実感度※1	%	※調査中 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上

※1 「介護・高齢者福祉の向上」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は高齢者にとって暮らしやすいまちである」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。



現況と課題

- ◆本市の高齢化率は、**2023年4月1日**現在で群馬県内12市の中で最も高い**36.9%**となっています。今後も、特に後期高齢者が急増することが見込まれており、認知症高齢者や一人暮らし高齢者など、日常生活において何らかの支援や見守りを必要とする人を地域全体で支える体制づくりが求められています。
- ◆介護保険事業においては、給付と負担のバランスを維持しながら、必要な財源を確保し、引き続き安定した制度運営を実施していくことが課題となっています。



施策の方向

1. 高齢者福祉の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
認知症サポーター※2 数 【各年度末時点での累計】	人	18,192	19,500	20,000	20,500	21,000

※2 認知症サポーター…認知症について正しく理解し、認知症の人とその家族を見守る応援者。

施 策
1. 地域包括ケアの推進
2. 尊厳ある暮らしに向けた支援
3. 支え合いのしくみづくり

2. 社会参加と生きがいの推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
シルバー人材センターの会員数 【各年度末時点】	人	507	520	530	540	550
介護予防教室の参加者数【年間】	人	285	300	350	400	450

施 策
1. 社会参加と生きがいの推進に向けた支援
2. 介護予防・重度化防止の推進

3. 介護保険制度の適正運用

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
介護保険料の収納率	%	97.8	97.9	97.9	97.9	97.9

施 策
1. 介護保険サービスの確保
2. 介護認定の円滑な運営
3. 保険財政の適正運用



主な関連計画

◇第9期桐生市高齢者保健福祉計画（2024～2026 年度）

◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2024 年度）

2-3 障がい者福祉の向上



担当課	福祉課
主な関係課	健康長寿課、子育て相談課



基本方針

障がい者が地域で安心して暮らせる社会の実現を目指し、**多様な施策を実現していきま**
す。

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「障がい者福祉の向上」の 市民実感度※1	%	※調査中 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上

※1 「障がい者福祉の向上」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は障がいのある人にとって暮らしやすいまちである」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。



現況と課題

- ◆障がい者の自立を支援するため、在宅生活支援や就労支援の充実が求められています。
- ◆障がい者一人ひとりが適切なサービスを利用できるための相談支援体制の充実や障がい児支援の強化が求められています。
- ◆障がい者の積極的な社会参加の促進と障がい者に対する市民意識の啓発を行い、社会全体が障がい者とともに生きるという支え合いの体制づくりが必要となっています。



施策の方向

1. 障がい者支援の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
障害福祉サービスの利用件数 【年間】	件	1,463	1,489	1,503	1,516	1,528
地域生活支援事業の利用件数 【年間】	件	4,483	4,559	4,631	4,696	4,761
障害児通所支援事業の利用件数 【年間】	件	244	256	266	276	287

施 策
1. 自立支援と在宅生活支援の充実
2. 就労支援の充実
3. 社会参加の促進

2. 暮らしやすい環境づくりの推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
地域で生活する障がい者の割合 【各年度末時点】	%	96.82	97.22	97.60	97.98	98.27

施 策
1. 障がいについての理解の促進
2. 暮らしやすい環境整備の推進



主な関連計画

- ◇桐生市第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画（2024～2026年度）
- ◇桐生市障害者計画（2024～2029年度）

2-4 地域福祉の向上



担当課	福祉課
主な関係課	健康長寿課、子育て相談課、新里支所市民生活課、黒保根支所市民生活課



基本方針

国が進める**地域共生社会の実現**や、「市民の誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことのできる**地域づくり**」を目指して**施策を展開してまいります**。

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「地域福祉の向上」の市民実感度 ※1	%	※調査中 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上

※1 「地域福祉の向上」の市民実感度…市民の声アンケートの「お住まいの地区には困っている人を見かけたときに声をかけたり協力したりしやすい雰囲気がある」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。



現況と課題

- ◆複雑化・複合化する相談支援のニーズに対応するため、重層的支援体制整備事業を導入し、様々な支援機関との連携による多機関協働の仕組みづくりやアウトリーチ等を通じた継続的かつ伴走的支援の取組みが必要です。
- ◆地域共生社会の実現に向けて、「我が事・丸ごと」の地域づくりと、包括的な支援体制づくりを推進することが必要です。
- ◆市民一人ひとりが、地域福祉の担い手であることを認識し、住民主体による地域課題の解決力を強化する体制づくりが必要です。



施策の方向

1. 地域福祉活動の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
桐生市ボランティアセンターへの登録者数	人						
桐生市ボランティアセンターへの登録団体数	団体						
桐生市ボランティアセンターへの相談件数【年間】	件	93	220	220	220	220	220

施 策
1. 地域福祉活動の促進
2. 地域福祉の啓発
3. 婚活支援等による若者の支援

2. 地域福祉活動拠点の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
地域住民の交流などを目的とするサロン活動の実施団体数【年間】	団体	29	80	85	90	95	

施 策
1. 地域福祉活動の体制強化
2. 地域福祉の拠点整備



主な関連計画

- ◇第3次桐生市地域福祉計画・第3次桐生市地域福祉活動計画（2020～2024年度）
- ◇桐生市自殺対策計画（2024～2028年度）



2-5 健康づくりの推進

担当課	健康長寿課
主な関係課	スポーツ・文化振興課、 地域医療感染症対策室 、子育て支援課、子育て相談課、教育総務課、学校教育課、生涯学習課



基本方針

市民一人ひとりの健康寿命の延伸を図るため、生活習慣病の予防や食育の推進などを図り、市民の健康づくりを推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「健康づくりの推進」の市民実感度※1	%	※調査中 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上
健康寿命（男性）	歳	78.75 (2019年度)	調査の 都度向上	調査の 都度向上	調査の 都度向上	調査の 都度向上
健康寿命（女性）	歳	82.65 (2019年度)	調査の 都度向上	調査の 都度向上	調査の 都度向上	調査の 都度向上

※1 「健康づくりの推進」の市民実感度…市民の声アンケートの「自分は心身ともに健康的な生活を送ることができている」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。



現況と課題

- ◆全ての市民が、生涯を通じて、心身ともに健康で質の高い生活を送るためには、「健康寿命の延伸」を実現することが重要です。
- ◆生活習慣病の早期発見や早期治療による重症化予防のため、わたらせ健康診査（特定健康診査など）、各種がん検診、特定保健指導を実施していますが、受診率・実施率は低く、周知方法の工夫や受診しやすい健診体制の整備が必要です。
- ◆歯科口腔に関する健康格差をなくし、生涯にわたって健康で質の高い生活を確保できるよう、歯科口腔保健施策を計画的に推進していく必要があります。



施策の方向

1. 生活習慣病予防と重症化予防の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
特定健康診査の受診率	%	33.9	調査の 都度向上	調査の 都度向上	調査の 都度向上	調査の 都度向上
がん検診の受診率	%	7.08	調査の 都度向上	調査の 都度向上	調査の 都度向上	調査の 都度向上

施 策
1. 生活習慣病予防の推進
2. 生活習慣病の重症化予防

2. 生涯を通じた健康づくりの推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
市民の声アンケートの設問「継続的に運動（散歩やラジオ体操など、意識して体を動かすこと）をしていますか。」に対し、“している”と回答した人の割合	%	※調査中 (2023 年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上

施 策
1. 保健事業の充実
2. 健康づくり拠点の充実



主な関連計画

- ◇元気織りなす桐生 21（第 3 次）
（桐生市健康増進計画・桐生市食育推進計画・桐生市歯科口腔保健推進計画）（2024 年度～）
- ◇桐生市国民健康保険第 3 期保健事業実施計画（データヘルス計画）・桐生市国民健康保険第 4 期特定健康診査等実施計画（2024 年度～）
- ◇第 2 期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2024 年度）

2-6 地域医療の充実



担当課	地域医療感染症対策室、広域連携推進室、医療保険課
主な関係課	



基本方針

市民が適時適切に医療サービスを受けられるよう、桐生厚生総合病院をはじめとする地域医療の充実とともに、新たな感染症の発生に備え、関係各署との連携を図ります。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「地域医療の充実」の市民実感度 ※1	%	※調査中 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上

※1 「地域医療の充実」の市民実感度…市民の声アンケートの「お住まいの地区には安心してかかることができる医療機関（病院や薬局など）が充実している」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。



現況と課題

- ◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、軽症患者が救急医療を安易に受診する「コンビニ受診」は減少していますが、症状に応じた医療機関の適正な受診については引き続き課題となっており、病院と診療所との連携や高度・専門的な治療に対応できる二次救急医療体制の充実などが求められています。
- ◆桐生厚生総合病院においては、「がん診療連携拠点病院」や「地域医療支援病院」など地域の中核病院として位置づけられていますが、常勤医師が不在の診療科目があるなど、診療体制の充実が求められています。
- ◆勤務医師の負担を軽減するため、長時間労働の医師の労働時間短縮及び健康確保のための措置を目的とする「医師の働き方改革」により、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保が推進されています。
- ◆新型インフルエンザや新型コロナウイルスと、経験した事のない新たな感染症が相次いで発生している中で、その都度実施されるワクチン接種をはじめとする感染症対応の体制整備の確保とともに、日頃から予防に対する正しい情報の発信・周知が求められています。



施策の方向

1. 地域医療の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
市民の声アンケートの設問「かかりつけ医（歯科医を含む）を決めていますか。」に対し、“決めている”と回答した人の割合	%	※調査中 (2023 年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上

施 策
1. 病院と診療所の連携強化
2. 救急医療体制の充実
3. 桐生厚生総合病院の機能の充実
4. 感染症の感染予防・拡大抑止



2-7 生活支援・社会保障の充実

担当課	納税課、健康長寿課、福祉課、医療保険課
主な関係課	子育て支援課、子育て相談課



基本方針

市民の生活基盤の安定化を図るため、福祉の自助・互助・共助・公助のうち、共助の要となる国民健康保険や公助の要となる生活保護等の社会保障制度についての適正な運用を推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「生活支援・社会保障の充実」の市民実感度※1	%	※調査中 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上

※1 「生活支援・社会保障の充実」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は経済的に弱い立場の人の生活を支える仕組みや自立を促す仕組みが整っている」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。



現況と課題

- ◆生活保護や生活困窮者自立支援に関する相談支援の場面では、相談者のさまざまな生活課題を的確に把握した上で、活用できる資産の有無の確認を行うとともに、関連する法・制度等を活用し支援していく必要があり、窓口相談における幅広い知識が求められています。
- ◆国民健康保険の健全運営のため、**将来の国民健康保険税率県下統一を見据えた**適正な賦課や収納率の向上に努めるとともに、保険給付と生活習慣病予防の両面から医療費の適正化に取り組むことが課題となっています。また、福祉医療費助成事業を適正に運営し継続的安定化を図ることも課題となっています。



施策の方向

1. 生活支援の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
フードバンク桐生と食品の提供に関する協定を結んだ企業・団体数 【各年度末時点】	件	8	9	9	10	10

施 策
1. 生活保護受給世帯の自立支援
2. 生活困窮者等への支援
3. 子どもの居場所づくり

2. 国民健康保険の健全運営

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
国民健康保険税の賦課割合 (応能割合・応益割合)	—	48:52	応益割合 45～55	応益割合 45～55	応益割合 45～55	応益割合 45～55
国民健康保険税（現年度）の 収納率	%	94.12	96.29	96.29	96.29	96.29
特定健康診査の受診率【再掲】	%	33.9	調査の 都度向上	調査の 都度向上	調査の 都度向上	調査の 都度向上
特定保健指導の実施率	%	9.1	調査の 都度向上	調査の 都度向上	調査の 都度向上	調査の 都度向上

施 策
1. 国民健康保険財政の健全化
2. 保健事業の充実
3. 福祉医療費助成事業の適正運営



主な関連計画

- ◇ 桐生市国民健康保険第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）・桐生市国民健康保険第4期特定健康診査等実施計画（2024年度～）

3-1 学校教育の充実



担当課	教育総務課、教育未来室、学校教育課
主な関係課	子育て支援課、黒保根支所市民生活課、生涯学習課



基本方針

桐生ならではの特色ある教育をとおして、学校教育の充実を図ります。

目標指標	単位	基準値	目標値				
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
「学校教育の充実」の市民実感度 ※1	%	※調査中 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上	
学校評価アンケートの「特色ある 教育活動」に関する設問に対し、 “満足”と回答した保護者の割合	%	85.0	85%以上 を維持	85%以上 を維持	85%以上 を維持	85%以上 を維持	

※1 「学校教育の充実」の市民実感度…市民の声アンケートの「お住まいの地区では子どもが社会で生活していく上で必要な学力や体力、生活習慣などをしっかり身につけている」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。



現況と課題

- ◆幼児教育においては、小学校以降における教科等の理解につながるよう、幼児と児童・生徒の交流だけでなく教師の相互参観等を含めた交流活動の一層の充実を図る必要があります。
また、本市の自然環境や地域の人との関わりを、より一層重視した教育活動を充実させていく必要があります。
- ◆義務教育においては、特別支援教育の必要な児童・生徒にも配慮しながら、社会の変化に主体的に向き合い、自らの可能性を發揮し、他者と協働しながら、よりよい社会の創り手になるために児童・生徒が必要な力を育てていくことが求められています。
- ◆国が提唱する **GIGA スクール構想の実現に向け、児童・生徒1人1台のICT端末を整備したため、授業におけるICTの効果的な活用について研究を深め、児童・生徒の「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する必要があります。**

- ◆商業高等学校教育においては、生徒が豊かな人間性を育み、自ら学び、商業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を育成することが課題となっています。また、より魅力的な学校になるよう、今後のあり方について検討する必要があります。
- ◆教育施設については、幼児・児童・生徒数の減少を踏まえ、持続可能な教育施設の適正配置を進めながら、適切な施設改修を進めるとともに、時代の変化に即した教育環境を整備する必要があります。
- ◆学校給食については、給食残渣の再資源化による肥料の活用や、地産地消を推進するとともに、食に関する理解を深めるため、栄養教諭などによる食に関する指導を行い、児童・生徒が望ましい食習慣を形成できるように取り組んでいます。



施策の方向

1. 教育内容の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
学校評価アンケートの「学校の授業の満足度」に関する設問に対し、“満足”と回答した児童・生徒の割合	%	85.0	85%以上を維持	85%以上を維持	85%以上を維持	85%以上を維持	85%以上を維持
学校評価アンケートの「将来の夢やつきたい職業」に関する設問に対し、“考えている”と回答した児童・生徒の割合	%	81.0	80%以上を維持	80%以上を維持	80%以上を維持	80%以上を維持	80%以上を維持

施 策
1. 桐生ならではの特色ある教育の充実
2. 成長過程に応じた学習内容の充実
3. 専門教育の充実
4. 特別支援教育の充実

2. 教育環境の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
学校における教育の情報化の実態等に関する調査の「児童生徒のICT活用を指導する能力」に関する設問に対し、“能力がある”と回答した教職員の割合	%	72.0	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上

施 策
1. 施設・設備の充実
2. 教育の機会均等
3. 学校適正配置の推進

3. 学校給食の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
学校給食における市内産の地場産物の使用割合	%	10.2	10.7	11.2	11.7	12.2	

施 策
1. 学校給食の充実
2. 食育指導の推進
3. 効率的な運営の推進



主な関連計画

- ◇第3期桐生市教育大綱（2024～2027年度）
- ◇桐生市立小中学校適正規模・適正配置基本方針（2023年3月～）
- ◇第2期桐生市子ども・子育て支援事業計画（2020～2024年度）
- ◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2024年度）



3-2 教育研究の推進

担当課	学校教育課
主な関係課	教育総務課



基本方針

教育の更なる質の向上を図るため、学力向上や生徒指導等における教育課題の解決につながる教育研究を推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「教育研究の推進」の市民実感度 ※1	%	※調査中 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上

※1 「教育研究の推進」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は児童・生徒・保護者のための教育に関する相談・支援体制が充実している」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。



現況と課題

- ◆学力向上や**特別支援教育**、**不登校児童生徒支援**、生徒指導等における多種多様な課題に対応するためには教育研究が必要不可欠であり、より多くの教職員の資質を高めることが求められています。
- ◆教育資料室では、教育関係資料のほか郷土関係資料を多数収蔵し、広く市民に公開していますが、より有効に教育へ生かすために、教育資料の公開・活用をさらに充実させることが望まれています。
- ◆適応指導教室においては、人間関係づくりを基盤にし、一人ひとりに応じた支援計画を取り入れることによって児童・生徒の不安や悩みを軽減させ、学校や関係機関と連携しながら学校復帰を目指していく必要があります。**そのために、各学校の情報収集に努め、情報の共有化を図り、相談体制の充実を図っていくことが不可欠となっています。**
- ◆幅広い分野での教育・学習・相談等の拠点づくりを推進するため、中核的な役割を担う教育研究所をはじめとする教育関連施設の機能を充実させる必要があります。



施策の方向

1. 教育研究・相談機能の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
各種研修講座のアンケートの「研修講座の満足度」に関する設問に対し、“満足”と回答した教職員の割合※2	%	91.0 (2021 年度)	90%以上 を維持	90%以上 を維持	90%以上 を維持	90%以上 を維持	90%以上 を維持

※2 各種研修講座のアンケートの「研修講座の満足度」に関する設問に対し、“満足”と回答した教職員の割合…教職員を対象とした研修講座の内容の充実を図るため、2020 年度からアンケートを実施し、満足度を把握する

施 策
1. 教育研究・研修の充実
2. 教育相談の充実
3. 教育資料室の充実

2. 適応指導の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
教育相談技術初級資格※3の取得者の割合【各年度末時点】	%	100.0 (2021 年度)	95%以上 を維持	95%以上 を維持	95%以上 を維持	95%以上 を維持	95%以上 を維持

※3 教育相談技術初級資格…一定の要件を満たした教職員に対して、申請に基づき、「生徒指導・教育相談の基礎的な理論・技術を習得している者」として県が認定する資格。

施 策
1. 適応指導教室の充実
2. 相談体制の充実



主な関連計画

◇第3期桐生市教育大綱（2024～2027 年度）

◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2024 年度）

3-3 青少年健全育成の推進



担当課	青少年課
主な関係課	学校教育課



基本方針

青少年の自立と社会参加を促進するため、学校・家庭・地域の連携を一層深め、環境浄化・非行防止活動を市民総ぐるみの運動として、青少年教育活動を推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値				
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
「青少年健全育成の推進」の市民実感度※1	%	※調査中 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上	
街頭補導の参加者数【延べ】	人						

※1 「青少年健全育成の推進」の市民実感度…市民の声アンケートの「お住まいの地区では子どもが健全に育っている」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。



現況と課題

- ◆桐生市青少年問題協議会において、青少年に関わる諸問題に対する施策の審議や適切な実施を検討するため、関係機関・団体の連携を図るとともに、市民への青少年健全育成の啓発を更に推進する必要があります。
- ◆インターネットが発達・普及した現代社会において、SNS等のインターネット上でのいじめやトラブルが後を絶たず、こうした問題から青少年を保護する必要があります。
- ◆青少年の相談内容の多様化に対応できるように、さまざまな研修を通して相談員の資質の向上を行い、機能の充実を図る必要があります。
- ◆青少年野外活動センターでは、教育的機能を有する公の施設として、野外活動及びキャンプ活動を通じて、青少年等の心身の健全な育成を図るため、更に充実した施設運営を行っていく必要があります。



施策の方向

1. 青少年教育の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
ネット見守り活動委員会の会員数 【各年度末時点】	人	336	350	360	370	380	
街頭補導の参加者数【年間】	人	2,359	2,550	2,600	2,650	2,700	

施 策
1. 青少年保護活動の充実
2. 市民総ぐるみ「青少年健全育成運動」の推進
3. 相談機能の充実

2. 青少年教育施設の運営

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
青少年野外活動センターの 利用者数【年間】	人	5,257	6,000	6,500	7,000	7,500	

施 策
1. 青少年教育施設の運営



主な関連計画

- ◇第3期桐生市教育大綱（2024～2027年度）
- ◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2024年度）

3-4 生涯学習の推進



担当課	生涯学習課、図書館
主な関係課	子育て支援課、新里支所市民生活課、黒保根支所市民生活課、学校教育課



基本方針

住民自らの学びを、よりよい地域づくりへとつなげていけるよう、学校や地域、その他多様な主体との連携により生涯学習を推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値				
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
「生涯学習の推進」の市民実感度 ※1	%	※調査中 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上	
図書館の利用登録者数 【各年度末時点】	人	71,298	71,800	72,300	72,800	73,300	

※1 「生涯学習の推進」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は生涯にわたって学習できる環境が充実している」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。



現況と課題

- ◆少子高齢化や人口減少などの社会情勢の変化に伴い、地域社会の抱える課題が多様化していることから、さまざまな団体と連携し、地域課題の解決に向けた学習機会の充実を図るとともに、学びの成果をよりよい地域づくりの実践につなげることが求められています。
- ◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、生涯学習の機会が縮小を余儀なくされたことから、新たな生涯学習のあり方を研究し、魅力ある学習機会の確保に努めていくことが求められています。
- ◆社会教育と学校教育、家庭教育は密接に関連していることから、積極的な情報発信を図るとともに、学校・地域との連携により、地域全体で子どもの成長を支えていく必要があります。
- ◆公民館や図書館等の社会教育施設について、専門性や特色を生かした多様な世代に対応した学習機会の提供を図るための環境整備が求められています。



施策の方向

1. 生涯学習の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
出前講座の利用件数 【年間】	件	188	220	230	240	250	
放課後子供教室の設置数 【各年度末時点】	か所	14	17	17	17	17	

施 策
1. 生涯学習機会の充実
2. 社会教育の充実
3. 学校・地域との連携の推進

2. 社会教育施設の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
市民 1 人当たりの公民館の 利用回数 【年間】	回	1.29 (2021 年度)	3.41	3.41	3.42	3.42	
図書資料の所蔵数 (CD・DVD 等含む) 【各年度末時点】	点	387,576	389,000	390,000	391,000	392,000	
図書資料の貸出数 (CD・DVD 等含む) 【年間】	点	314,845	315,000	315,500	316,000	316,500	

施 策
1. 公民館の充実と学習要求への対応
2. 図書館の充実



主な関連計画

- ◇第3期桐生市教育大綱 (2024～2027 年度)
- ◇第2期桐生市子ども・子育て支援事業計画 (2020～2024 年度)
- ◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (2020～2024 年度)

3-5 芸術・文化の振興



担当課	スポーツ・文化振興課、生涯学習課、文化財保護課
主な関係課	観光交流課、日本遺産活用室、都市計画課、新里支所市民生活課、黒保根支所市民生活課



基本方針

心豊かなまちづくりを目指し、芸術文化活動を促進するとともに、文化財の保護・活用などを行い、市民の芸術・文化の振興を図ります。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「芸術・文化の振興」の市民実感性※1	%	※調査中 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上

※1 「芸術・文化の振興」の市民実感性…市民の声アンケートの「自分は桐生市の芸術や文化、文化財に愛着や誇りを感じる」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。



現況と課題

- ◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、文化財に触れる機会が減少しており、文化財保護の意識の低下が懸念されます。このような現況を踏まえ、先人の残した歴史的資産を後世に伝えていくために、有効活用に向け、より一層の文化財の活用および積極的な公開を進めていく必要があります。
- ◆魅力ある芸術・文化事業に取り組むほか、コロナ禍等社会の変化に対応した芸術・文化事業の在り方について研究し、文化関係団体の事業を効果的・効率的にするための提案を行っていく必要があります。
- ◆芸術文化活動の拠点となる桐生市市民文化会館、桐生明治館、桐生市有隣館等の施設の充実や適正な維持管理、効果的な運営方法の検討が求められています。



施策の方向

1. 芸術・文化活動の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
市民文化会館の入館者数【年間】	人	197,607	213,415	221,319	229,223	237,127	
市民文化会館の稼働率	%	67.2	67.9	68.6	69.3	70.0	
指定文化財である市有施設の入館者数	人						

施 策
1. 文化活動の支援
2. 芸術文化活動拠点施設の充実

2. 文化財の保護・活用

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
文化財の公開施設数 (常時・イベント時の合計)	件	34	36	38	40	42	
桐生明治館の入館者数【年間】	人	3,732	3,800	3,900	4,000	4,100	
桐生市有鄰館の入館者数【年間】	人	38,735	43,350	44,300	45,250	46,200	
桐生市近代化遺産絹燃記念館の 入館者数【年間】	人	1,566	1,650	1,700	1,750	1,800	
指定文化財である市有施設の入館者数【年間】	人	44,033	48,800	49,900	51,000	52,100	
(仮称)重伝建地区公開活用施設 の入館者数【年間】	人	1,216※3	2,500	3,000	3,500	4,000	

※2 指定文化財である市有施設の入館者数については、「桐生明治館」、「桐生市有鄰館」、「桐生市近代化遺産絹燃記念館」の入館者数の合計。

※3 基準値については、(仮称)重伝建地区公開活用施設が開館前であるため、伝建まちなか交流館の来館者数を記載。

施 策
1. 文化財の保護・活用



主な関連計画

- ◇第3期桐生市教育大綱(2024~2027年度)
- ◇桐生市歴史的風致維持向上計画(2017~2026年度)

3-6 スポーツの振興



担当課	スポーツ・文化振興課
主な関係課	健康長寿課、新里支所市民生活課、黒保根支所市民生活課



基本方針

一人でも多くの市民にスポーツを楽しんでもらうため、いつでも、どこでも、誰でも楽しめるスポーツを推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「スポーツの振興」の市民実感度 ※1	%	※調査中 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上
桐生市体育施設利用者アンケートの設問「スポーツ教室に参加したいと思う」に対し、“参加したい”と回答した市民の割合	%	91.0	調査の 都度向上	調査の 都度向上	調査の 都度向上	調査の 都度向上

※1 「スポーツの振興」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市には気軽に運動をする場所や機会、体を動かしたりする環境が整っている」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。



現況と課題

- ◆各種スポーツの推進については、桐生市体育協会加盟の競技団体が市民大会をはじめ、スポーツ教室等を開催し競技種目の振興を図っています。
- ◆競技力向上対策では、桐生市体育協会加盟団体と連携を図り、その競技における専門的な技術指導者の確保やスポーツ医・科学の面での支援体制の整備が必要となります。
- ◆生涯スポーツの正しいあり方や生涯にわたってスポーツに親んでもらう施策の他、**コロナ禍等にあっても人々のスポーツ活動を可能な限り維持する施策**を積極的に講じる必要があります。
- ◆スポーツ施設においては、老朽化が進んでいる**施設がある**ことから、整備・改修を検討する必要があります。



施策の方向

1. スポーツ活動の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
体育施設の利用者数	人						
市民一人当たりの体育施設 利用回数【年間】	回	2.96	2.97	2.98	2.99	3.00	

施 策
1. スポーツイベントの開催・支援
2. 競技スポーツの推進
3. 生涯スポーツの推進
4. 団体・指導者の育成

2. スポーツ施設の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	
桐生市体育施設利用者アンケート の設問「全体的に施設には満足し ている」に対し、“満足”と回答 した市民の割合	%	70.0	調査の 都度向上	調査の 都度向上	調査の 都度向上	調査の 都度向上	調査の 都度向上

施 策
1. スポーツ施設の充実



主な関連計画

◇第3期桐生市教育大綱（2024～2027年度）

◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2024年度）